

岡安橋

OKAYASU BRIDGE

架設年不明，地域を繋いだ鋼リベット橋

- 路線名：下川原村中線
- 所在地：京都府舞鶴市
- 橋梁形式：単径間鋼リベット橋
- 橋長：9.30m ，有効幅員：8.66m
- 供用期間：1945年以前と推定（橋調書では1970年）
～2016年
- 提供：舞鶴市（京都府）

橋の沿革

岡安橋は、京都府舞鶴市 舞鶴高専付近で供用されていた道路橋である。戦時中、現在の舞鶴高専一帯は、旧海軍の『第三海軍火薬廠朝来工場（第二製造部）』があり、旧海軍が建設した橋梁として伝えられている。その後、老朽化、利用頻度の減少、インフラストック数削減のため、2016年に撤去された。

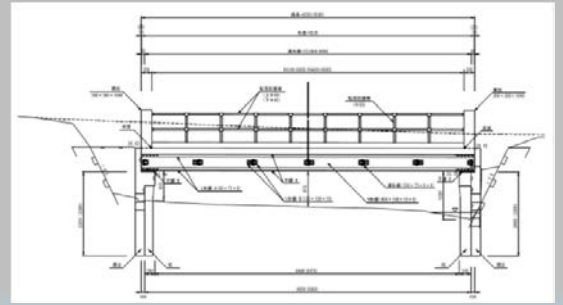


MAP



国土地理院 <https://maps.gsi.go.jp/>

PLAN



架設年推定

橋梁に限らず構造物の維持管理において“架設年”は非常に重要な情報である。舞鶴市の橋調書では、架設年1970年と記載されていた。しかし、本橋は“旧海軍による建設”と伝えられていること、また床版の使用鉄筋が丸鋼であること、リベット接合であることから、少なくとも1945年以前の架設であったと推定される。

技術の変遷 | 鋼橋

橋調書架設年
1970年



橋調書 架設年次：1970年

推定 架設年次：1945年以前

床版の使用鉄筋：丸鋼



リベット接合



注記：舞鶴市の架設年代不明橋梁は数多く存在し、明確な架設年次が分からない橋梁は便宜上「1970年」としている。



- 路線名：下川原村中線
- 所在地：京都府舞鶴市
- 橋梁形式：単径間鋼リベット橋
- 橋長：9.30m ，有効幅員：8.66m
- 供用期間：1945年以前と推定（橋調書では1970年）
～2016年
- 提供：舞鶴市（京都府）

撤去

老朽化、利用頻度の減少、インフラストック数削減のため本橋は撤去されることとなった。撤去工事は2016年に行われた。



教材としての活用

舞鶴市役所から、撤去した鋼リベット桁が教材として提供され、全国5高専（福島、長岡、福井、舞鶴、香川）に運搬された。主桁端部は、水がかりを受け、断面減少を伴う著しい腐食がみられた。一方で、端部を除く支間中央部は表面錆程度で、目立った損傷はなく、健全であった。損傷した桁端部と比較すると、鋼構造物の長寿命化対策として水がかりのコントロールがいかに大切かを物語る教材となっている。

教材としての活用例：

- ・ 鋼桁の腐食状況
- ・ 鋼材の板厚調査
- ・ リベット結合観察

